

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人清須市社会福祉協議会

令和2年度事業報告

令和2年4月に新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が発令されて以降、外出自粛や学校の臨時休校、営業施設の休業要請など、様々な感染拡大防止策が次々と打ち出され、日常生活や経済活動に大きな影響を与えてきました。

本会の事業にも大きな影響があり、当初予定していた事業の多くが計画どおり実施できなくなった一方、日常生活の変化に伴う相談件数の増加や経済活動の停滞に伴う生活困窮者対策など、新たな対策等への対応が求められる結果となりました。

中でも、「外出自粛」や「密を避ける」といった対策は、高齢者の身体的機能や認知機能の低下を招いたと推測され、特に昨秋以降、介護に関する相談が増加傾向となり、前年度より約700件増加し、年間ではのべ10,000件を超えました。

また、経済活動停滞の長期化の影響により、生活資金に困窮する者が増加し、例年であれば年に数件であった生活福祉資金の貸付件数は、令和2年度では758件と激増しました。

このような状況下において、令和2年度から新たにスタートした「フードドライブ」事業では、生活に困窮した世帯に食料等を適宜提供することができたことに加え、個人・法人を問わず、食料等の寄付を申し出ていただける方が想像以上に多くいてくださることが分かりました。

SNSを通じて事業を知った方が、手作りマスクを送付していただいたり、東北のお米を送ってくれたり、フードドライブボックスに日常的に品物を入れてくれたり支援の輪が広がりました。

また、事業を通じて企業から寄付していただいた大量の食料等は、地域のボランティア団体、福祉団体、ブロック、自治会、福祉関係事業所等とも連携し、有効に活用することができました。

以上のように、当初の事業計画の変更が余儀なくされましたが、マスクを集めて必要な市民に配る、動画を使った体操を情報提供する、食料等を通して助け合いの仕組みを作るなど、いま必要とされる事業を優先的に実施することで、新しい発見や多くの学びを得ることができました。

＜清須市社会福祉協議会 第4次総合計画体系図＞

理念	種別	方向性	目標
私たち一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる福祉のまちづくり	地域福祉活動計画	市民と社協が共に目指す 支え合いのある地域づくり	①身近な地域での支え合い活動を推進します!! ②誰もが活躍できる清須市を目指します!! ③誰もが認め合い、共に生きる力を育てます!! ④何でも気軽に相談できる社協を目指します!! ⑤権利擁護体制を強化し、将来も安心して暮らせるまちをつくります!!
	発展強化計画	社協が果たす 公益的な役割の整理と、 持続可能な法人基盤の整備	①役職員の共通理解の促進と職員育成の強化を進めます!! ②多様なニーズに対応できるよう社協独自事業を拡充します!! ③市民と社協が気軽に情報をやりとりできるしくみをつくります!! ④継続した事業運営のための財源の確保に努めます!! ⑤市民の信頼と安心を得られる確かな法人基盤を構築します!! ⑥安心してサービス利用できる利用者保護の体制を整備します!!
	災害対策計画	市民と社協が共に備える 災害への対策	①災害からいち早く復旧できる組織づくりを進めます!! ②災害発生時の緊急対策を整備します!! ③市民生活の復興を支援するしくみを強化します!!

令和2年度事業報告

<地域福祉活動計画関連>

①身近な地域での支え合い活動を推進します！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報を収集するための「高齢者買い物アンケート」を初めて実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の買い物の実態が分かり、新たな支え合いの仕組みづくり手がかりとなった。
<ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブを新規事業として立ち上げて実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブを通じて、企業の社会貢献の取組と地域の福祉活動をマッチングすることができた。また、貸付相談者等へ有効に活用することができた。 ・コロナ禍において出前講座、福祉学習会等は開催できなかったが、感染状況を見ながら活動方法を工夫し、マスク制作のボランティア活動や食べきれない食品を集めるなど自宅でできるボランティアの紹介などコロナ禍がきっかけで新しい取り組みを試みるすることができた。

②誰もが活躍できる清須市を目指します！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックの更新頻度を増やし、自宅でできるボランティアの紹介や日頃の社協活動の様子などのPRに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックの利用により社協事業をPRし、マスク、食料の寄付は市外、県外からも反応があった。
<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者の集いを開催し、パソコンを活用した視覚障害者の情報収集や情報伝達の手段を構築した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者の生活の質を向上させるために、パソコンの学習会を行うことができた。 ・視覚障害者の自主グループとしてボランティア登録するとともに、よし笛をサービスで披露するなど社会貢献することができた。

③誰もが認め合い、共に生きる力を育てます！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・西枇杷島地区で協議体を開催し、西枇杷島地区住民との意見交換を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の意見や情報を共有し、地域福祉活動のきっかけづくりとなった。

④何でも気軽に相談できる社協を目指します！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・相談スキルの向上のため、相談支援業務ネットワーク会議を開催し、困難事例に対する各部門からの検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの分野が持っている情報が一元化され、問題解決のための手がかりをつかむことができた。

⑤権利擁護体制を強化し、将来も安心して暮らせるまちをつくります！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・清須市が成年後見制度利用促進のための施策について学習会を開催したので、市の職員とともに参加して学習した。 ・社協内においては、市民からの成年後見制度全般に関する相談などは地域包括支援センターで引き続き対応した。 ・どのようなセンターを目指すのか社協内で研修という形で意見交換を行い、清須市にあったセンターの形を具体的に検討してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度に関する相談に対応するセンターの設置に向けて清須市の窓口が決まり、具体的に検討する段階に入った。 ・社協内で研修という形でセンターのイメージを膨らませ、センター構想案を取りまとめた。

<発展強化計画関連>

① 役職員の共通理解の促進と職員育成の強化を進めます！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉部会 2 回、発展強化部会 2 回、災害対策部会 1 回を開催し、社協事業の要綱改正や BCP の作成などを協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における地域福祉活動の方向性、同一労働同一賃金への対応、BCP の作成など役職員が一体となり検討を進め、就業規則、ブロック社協事業実施要綱を改正させるとともに、BCP を完成させることができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を充実させ、部署を横断する横断研修を年 5 回、係長研修を年 3 回開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協で課題となっている事柄を研修という形で様々な部署の職員の参加を得て協議し、問題解決を図ることができた。 (企業からの寄付の増加、共同募金期間の延長、複雑困難な個別ケースの検討、広報発行体制の改善等)
<ul style="list-style-type: none"> ・人事評価制度を初めて導入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人事評価制度の導入により、職員が自分の仕事の位置づけや仕事の見える化に努めるとともに、客観的な評価を記録に残すことで、今後の処遇や能力開発の基礎資料ができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークと連携して障害者雇用の推進に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークへの相談や連携により、障害者雇用が実現でき、法定雇用率を遵守することができた。

② 多様なニーズに対応できるよう社協独自事業を拡充します！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスでは月曜営業を開始し、週 5 日から週 6 日の営業体制に拡充した。また、社協でしか実施できないサービスメニューとして福祉センターを活用した歩行訓練を取り入れ、デイサービスのスペースにとらわれず広く施設を活用し、訓練を充実させた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における感染防止のため、上半期はサービスの利用控えがあったが、年度末には利用者が増加してきた。
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉基金を活用してホームページをリニューアルした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古くなったレイアウトを刷新してシンプルなデザインで見やすくすることができた。

③市民と社協が気軽にやり取りできるしくみをつくります！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌掲載内容検討会議を開催し、年間スケジュール、担当者と部署の役割分担などが整理された。 ・広告料収入は、引き続き取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協だよりの発行にあたり、編集委員会と事務局の役割を整理し、また年間を通してスケジュールを組むことで、計画的な発行準備ができるようになった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアルを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを見やすくするとともに、SNS をリンクさせ、固定的な情報をホームページに、タイムリーな情報を SNS に整理することができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・相談対応時は、コロナ禍においては、マスク、フェイスシールド着用等感染防止に注意を払いながら、アウトリーチによる対応を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても感染防止に気を付け相談支援を継続することができた。

④継続した事業運営のための財源の確保に努めます！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業、委託事業においては、適正人員を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算折衝に当たっては、十分な補助金、委託金を確保することができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・企業にホームページのバナー広告や社協だよりの掲載依頼を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、広告収入を確保することができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングの研究など財源確保の手段を職員研修で協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディングは実施するに至らなかったが、共同募金活動では、例年 10 月～12 月までの期間を 10 月から 3 月まで延長して実施したことで金額の確保につながった。

⑤市民の信頼と安心を得られる確かな法人基盤を構築します！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・収益と人員のバランスを取り、収入の範囲内で支出を行うよう職員の配置を行った。 ・財務状況の公表は継続して取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一部事業の収支はマイナスとなったが、法人全体ではプラスとすることができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンス研修は介護保険制度、安全運転講習等を通じて伝達している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して法令順守についての意識を高めることができた。

⑥安心してサービス利用できる利用者保護の体制を整備します！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none">・個人情報の持ち出し等の具体的なガイドラインを整備した。	<ul style="list-style-type: none">・具体的な場面を想定した書類持ち出しのガイドラインを整備することで、リスク管理ができた。
<ul style="list-style-type: none">・研修等を通してヒヤリハットや介護事故記録からリスクの高い場面を職員間で共有した。・安全運転講習や自家用車の保険チェック、免許証チェックにより事故防止に努めた。	<ul style="list-style-type: none">・介護事故は、発生しなかった。・自動車保険のチェック、免許証チェックにより職員の交通安全への意識が高まった。

<災害対策計画関連>

①災害からいち早く復旧できる組織づくりを進めます！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の異動等により職員緊急対応・行動マニュアルの改訂を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に備えて4月に改訂を行い、災害に備えることができた。

②災害発生時の緊急対策を整備します！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・BCPの策定を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めてBCPを作成し、大規模災害時と小規模災害時の2つのパターンに分けて、体制と業務内容を整理した。また、新型コロナウイルスの感染者が発生した場合の対応も一部盛り込んだ。

③市民生活の復興を支援するしくみを強化します！！

事業報告	事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症防止のため、市の総合防災訓練や災害ボランティアコーディネーター養成講座は、中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な行事は、実施できなかったが、QRコードリーダー、キャップ、ベストの購入など県社協助成金を活用した資機材の整備を進めることができた。
<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック社協を中心とした防災訓練・福祉学習会は、新型コロナウイルスの影響により実施できていない。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアグループがコロナ禍を想定した避難所訓練を実施し、そのサポートを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金を活動した助成制度で間接的に活動をサポートできた。